

(二) 虚言をつくことを法螺を吹くとばこれ如何

(三) 一疋の獸をう、(ぎぎ) (ん) とはこれ如何

(四) 見て酌みながら みずくむ (水酌む) とはこれ如何

何

● 切期限 本月二十日まででに到着の中で撰ぶ

● 解答は封書に限る 封紙には婦人と子とも投

稿と記すこと

● 東京本郷區龍岡町三十四番地東基吉宛のこと

● 當撰披露は第十號で 但し賞品は九號發行前

に發送します。

海水浴に行つて水に

溺れぬ法

皆さん屹度、此月は海水浴や川泳ぎに居らつしや
るでしよー。翁は一つ見出しの様な甘い工夫を教

へましよー。他ではありません、水に這入る時、
膝の所へ墨で輪を置いて置いて、どうあつても、
夫よりか深い所へ行かない様にするのです!!!

氷の誠

暑くつて〜といつて ガリ〜 氷を噛る 腹の中
は忽ち、零度の温度に冷へ切つて行きます。よく
ないのに極まつて居ますはね。氷は物を冷やすの
に使ふのなのに、夫をもどかしがって いきなり
噛り附くのは寒い時に 火で温めて食べるのが面
倒だといつて、いきなり 生の火をばらばら込む
のと全いでしよー。ねー 可笑いじやありません
か、身体が大事なら、そんなことは しないもの、
ことさら 虎刺拉などはやる時には!!!

(やまとの翁)